

Press Release

－お問い合わせ－

宇土市 まちづくり推進課 広報プロモーション係

担当:東(ひがし)、松田(まつだ)、古田(ふるた)

電話:0964-27-6608/メール:machi05@city.uto.lg.jp



アボカドから始まった宇土マリーナを盛り上げたい思い

宇土マリーナでしか買えない、宇土産バナナ爆誕！

地元の道の駅を盛り上げたい——その一心で始まった“南国果樹”栽培

宇土市の道の駅「宇土マリーナ」に、バナナ・アボカド・ポポーなど、南国を思わせる珍しい果物が季節によって並びます。これらを育てているのは、宇土市長浜町在住の田中久子さん。普段は米とみかんを育てる農家として働きながら、「宇土マリーナにしかない果物を作りたい」という思いで、南国果樹の栽培に挑戦しています。

始まりはアボカドの種

20～30年前、田中さんが食べたアボカドの種を庭に植えたことが、すべての始まりでした。無農薬で育ったアボカドは見事に実をつけ、その種を再び植えることで、少しずつ規模を拡大。現在では、アボカドに加え、バナナ、ポポー、ビッググミ、ボーブラ、かりん、フェイジョア、晩白柚など、季節ごとに多彩な果物を育てています。

バナナ最終収穫、9月18日～23日予定！

8月に出荷開始したバナナの最終収穫が、9月18日～23日の間に行われる予定です。収穫の様子や田中さんのインタビューなど、取材をご希望のメディア関係者様は、ぜひご連絡ください。

※バナナは、収穫後、2週間ほど家の倉庫で熟成し、その後宇土マリーナに出荷されます。

【年間の主な収穫予定】

月	果物
2月	アボカド
5月	ビッググミ
8～9月	ポポー、バナナ
10月	ボーブラ、ライチ(苗植え)
11月	かりん、フェイジョア
12月	晩白柚

※ライチは今年10月に苗が届き、来年の収穫を目指して栽培予定です。

実をつけたバナナの木と▶
生産者の田中久子さん

